

会津産業ネットワークフォーラム(ANF)
令和6年度第3回幹事会・第3回運営会議

次 第

日時 令和7年3月13日(木)15:00～16:30

場所 会津稽古堂 研修室 5・6

1 開会

2 挨拶

- 1) ANF 代表(マツモトプレシジョン株式会社 代表取締役社長) 松本 敏忠

3 議事

1) 令和7年度総会資料の確認

- ① 報告第1号 令和6年度事業報告
- ② 承認第1号 令和6年度収支決算報告
- ③ 議案第1号 令和7年度活動方針(案)及び事業計画(案)
- ④ 議案第2号 令和7年度収支予算(案)
- ⑤ その他

2) その他

4 幹事企業、自治体からの意見・情報・提案等

5 閉会

令和6年度 第3回幹事会・第3回運営会議名簿

2025年3月13日(木)

	企業名	役職	氏名(敬称略)	出欠	稽古堂	リモート
代表	マツモトプレジジョン(株)	代表取締役社長	松本 敏忠	○	○	
副代表	(株)会津工場	代表取締役社長	鈴木 直記	○	○	
	(株)マコト精機	代表取締役	古川 信吾	×		
相談役	会津テクノロジー合同会社	代表社員	阿部 進	○	○	
幹事	(株)北日本金型工業	代表取締役社長	小椋 庄太	○	○	
	玉川エンジニアリング(株)	取締役社長	池澤 広治	○	○	
	会津オリンパス(株)	経営企画部長	安藤 伸一	○		○
	ルービイ工業(株)	代表取締役社長	中野 孝司	○		○
	三菱マテリアル(株)若松製作所	企画管理部長	相田 正之	×		
	JUKI会津(株)	代表取締役	野崎 修一	○		○
	荒川産業(株)	社長室・室長兼リサイクルグループ	田中 博志	○	○	
	丸隆工業(株)	代表取締役	宮田 智弘	○	○	
	(株)サンブライト	代表取締役社長	渡邊 忍	○	○	
	暁精機(株)	代表取締役社長	大豆生田 政司	○	○	
	西田精機(株)	代表取締役社長	西田 高	○		○
	(株)シグマ	経営企画本部会津総務部 部長	小川 真二	○		○
	(株)三義漆器店	代表取締役	曾根 佳弘	×		
	監事	(株)東邦銀行会津営業部	常務執行役員営業部長	澤田 誓	×	
会津商工信用組合		融資部 副部長	清野 敦	×		
自治体	喜多方市	産業部 商工課 主事	高畑 康平	○	○	
	会津美里町	産業振興課商工観光係主事	新田 泰生	○		○
	会津坂下町	産業課商工観光班商工係長	長峯 麻美	○	○	
	湯川村	産業建設課・主事	長谷川 浩己	○		○
	下郷町	総合政策課 課長	佐藤 英勝	×		
	西会津町	商工観光係長	五十嵐 国幸	×		
	磐梯町	産業振興課長	樋口 和博	○		○
	北塩原村	産業課 主査	小檜山貴志	×		
	只見町	交流推進課商工労働係 係長	菊地 明	○		○
	猪苗代町	商工観光課 商工観光係 係長	二瓶 貴之	×		
	南会津町	商工観光課 雇用対策担当係長	湯田 昌伸	×		
	事務局	本部	事務局長(企業立地課長)代理	吉田 学	○	○
担当(企業立地課主任主事)			村野 瑞樹	○	○	
担当(企業立地課主任主事)			鈴木 悠介	○	○	
コーディネーター			三星 善克	○	○	
コーディネーター			秋山 眞理	○	○	
			名簿人数	出席者	現地	リモート
	35	25	16	9		
	出席率	71.4%				

令和7年度会津産業ネットワークフォーラム総会（案）

日時 令和7年5月8日(木)15:00

場所 会津若松ワシントンホテル2階 双鶴

－ 総 会 (15:00) －

1 開 会

2 あいさつ

代 表 マツモトプレジジョン株式会社 代表取締役社長 松本 敏忠

顧 問 会津若松市長 室井 照平 様

顧 問 会津地方振興局長 本田 伸雄 様

3 議事

- ① 報告第1号 令和6年度事業報告
- ② 承認第1号 令和6年度収支決算報告
- ③ 議案第1号 令和7年度活動方針(案)及び事業計画(案)
- ④ 議案第2号 令和7年度収支予算(案)
- ⑤ その他

4 講演会 16:00～

講演1：(Q&A 含み 60分)

演題：「薩摩の焼酎に負けない！会津の焼酎で、世界制覇」

講師： 合同会社ねっか

代表社員 脇坂 齊弘 氏

講演2：(Q&A 含み 30分)

演題：「(仮) AiCT コンソーシアムの現在地」

講師： 一般社団法人 AiCT コンソーシアム

代表理事 海老原 城一 氏 (アクセンチュア株式会社)

5 閉 会 ～17:30

－ 交 流 会 (17:40～) －

以上

会津産業ネットワークフォーラム（ANF）
令和6年度事業総括

令和7年3月末現在の正会員企業89社、賛助会員8社で、会津地域17市町村を中心に活動を続け、会員企業が立地する各自治体（12市町村）及び7教育・研究機関（会津大学、ポリテクセンター会津、テクノアカデミー会津、会津北嶺高校、会津工業高校、喜多方桐桜高校、福島県ハイテクプラザ会津若松技術支援センター）にも特別会員として連携支援をいただいております。

また、会津若松商工会議所等、会津地域の団体はもとより、東経連ビジネスセンター、郡山地域テクノポリス推進機構等、県内外の関係機関・団体とも引き続き、連携体制を構築してまいりました。

令和6年度の事業計画に対し、実施した具体的な取り組みの概要は次の通りです。

1. 会議の開催

「幹事会」と「運営会議」を合同で3回開催し、事業運営の審議を行いました。また事務局会議を3回開催し、主に幹事会への提案内容等の協議を行いました。

2. 企業間交流連携・販路拡大

- 1) 企業プレゼン会の1回目では、会員の会津パッケージ様、2回目は、マツモトプレジジョン様で工場見学と併せて会員各社の取組を知っていただくべくプレゼンいただきました。更には、予定にプラスし、3回目をセイコーエプソン様の地域企業との共創の取り組みなど知っていただきたいと考え、ヒューマンハブ天寧寺を会場に開催しました。
- 2) 販路拡大プロジェクトでは、昨年引き続き、機械要素技術展や彩の国ビジネスアリーナだけではなく、新たに諏訪圏工業メッセへの共同出展も行うなど、販路開拓を推進してまいりました。
- 3) 東北大学名誉教授の堀切川一男氏による御用聞き訪問を5月と11月に実施し、会員企業を延べ9社訪問し新商品開発のキッカケとなる提案や技術相談などに対する支援を受けました。
- 4) 経営者会は、秋と冬の2回開催し、秋はアントレプレナーシップ（起業家精神）を専門とする早稲田大学の長谷川教授に講演いただき、冬は人材不足対策として、国の施策から外国人採用の現場に至る講演、事例発表を行わせていただき

ました。講演後には交流会を開催し、会員企業同士、講演者との懇親を図りました。

- 5) 産学官連携での取組としては、会津工業高校からの要望を受け、会員企業の協力をいただきながらの「PTA 工場見学バスツアー」、初の試みとしての「ビジネスマナー講習会」を実施し、高校生と企業の方が接する機会を作ることができました。関連は不明ですが、令和6年度同校の卒業予定者の地元就職率が一定上がったしたとの報告も得ています。

また、郡山テクノポリス推進機構が実施している「広域連携地域産業ネットワーク構築事業」においては、会津地域の企業と他地域の企業のマッチング事業に取り組み、お互いの地域企業を、より知れる機会にもなりました。

会員企業のマッチング要望に対し、保有する技術・ノウハウを活用した商品開発の為、相手企業とつながりがある市町村役場の協力を得たりしながら連携を図る事もできました。

3. 大学及び関係機関との連携

中堅社員の集いでは、昨年度に引き続き、9月にSAP ジャパン様のご協力の元、「デザインシンキングを体験し学べるワークショップ」を開催しました。

また、ANFによる初のQC検定試験会津受検においては、会津若松商工会議所様や会員企業に協力いただき実現しました。

4. 人材育成

産業人材の育成として欠かすことができない研修として、新入社員研修・旋盤講習・フライス盤講習・QC検定講習会、保全技能教育・危険体感教育・部下育成セミナーなどを開催しました。また、ポリテクセンター福島への委託事業の生産性向上支援訓練は、製造業に不可欠なムダの排除及び工程改善、QC7つ道具活用セミナー、安全衛生に関するセミナーを開催しました。

また、令和7年度から新事業として、次世代経営層及び幹部層に向けた育成研修「次世代経営幹部エッセンシャルズ」を実施するにあたり、AiCTコンソーシアムのアクセンチュア様、SAPジャパン様と連携し、企画を作成しました。

5. 会員の拡大・周知

令和6年3月末現在の会員数は、正会員85社、賛助会員5社、特別会員19機関(12自治体含む)でした。令和6年度は、正会員が4社入会、1社退会し、賛助会員が3社入会により、令和7年3月末現在の会員数は正会員88社、賛助会員8社、特別会員19機関(12自治体含む)となっております。

以上

会津産業ネットワークフォーラム

令和6年度 事業報告書

自 令和6年4月 1日
至 令和7年3月31日

I ANF概要

会員状況

1. 入会企業

正会員4社

- ・セイコーエプソン株式会社 <精密機器メーカー>
- ・大同精機株式会社 <輸送用機械器具製造業>
- ・株式会社 福島民報社 会津若松支社 <情報サービス業、報道・マスコミ>
- ・株式会社いろはデザイン <デザイン・WEB制作>

賛助会員3社

- ・株式会社クフウシヤ(南相馬市)<ロボット開発>
- ・株式会社トライアンフ(須賀川市)<人材派遣、人材紹介業>
- ・株式会社テクノア(岐阜県)<業務用パッケージソフト開発/販売>

2. 退会企業(正会員1社)

- ・株式会社エスピー工業(湯川村)

会員状況	正会員	賛助会員	特別会員		合計
			自治体	教育・研究	
令和7年3月10日現在	88	8	12	7	115

3

会員状況

● 正会員89社

● 賛助会員8社

- 1) 芝浦機械エンジニアリング(株)
- 2) (株)ソディック
- 3) (株)エム・ティ・アイ
- 4) (株)誠和マザック
- 5) (有)ライブニッツ
- 6) (株)クフウシヤ
- 7) (株)トライアンフ
- 8) (株)テクノア

● 特別会員
12自治体/
7教育・研究機関

- 1) 会津若松市
- 2) 喜多方市
- 3) 会津坂下町
- 4) 会津美里町
- 5) 湯川村
- 6) 磐梯町
- 7) 下郷町
- 8) 南会津町
- 9) 只見町
- 10) 北塩原村
- 11) 西会津町
- 12) 猪苗代町

- 13) 会津大学
- 14) ポリテクセンター会津
- 15) テクノアカデミー会津
- 16) 会津北嶺高校
- 17) 会津工業高校
- 18) 喜多方桐桜高校
- 19) ハイテクプラザ会津

4

役員・組織

※敬称略

役員	代表 副代表	代表:松本 敏忠 マツモトプレジジョン(株) 副代表:鈴木 直記 (株)会津工場 古川 信吾 (株)マコト精機	代表取締役社長 代表取締役社長 代表取締役
	幹事 (13社)	会津オリンパス(株)、暁精機(株)、荒川産業(株)、(株)北日本金型工業、 (株)サンブライト、(株)三義漆器店、(株)シグマ、JUKI会津(株)、 玉川エンジニアリング(株)、西田精機(株)、丸隆工業(株)、 三菱マテリアル(株)若松製作所、ルービイ工業(株)	※50音順
	監事 (2社)	会津商工信用組合、(株)東邦銀行会津営業部	※50音順
顧問	会津若松市長 室井 照平 喜多方市長 遠藤 忠一 会津地方振興局長 本田 伸雄		
相談役	会津テクノロジー合同会社 代表社員 阿部 進		
事務局	事務局長:会津若松市観光商工部企業立地課長 野口 剛 担当:会津若松市観光商工部企業立地課 2名 コーディネーター 2名	5	

Ⅱ 事業実施状況

令和6年度のANF事業スケジュール

【ANF設立の目的】 会津地域における 1 企業の持続的な成長 2 産業の活性化 3 社会への貢献			1) 企業間交流・連携の拡大 2) 販路開拓拡大・新分野参入 3) 企業力の向上支援 4) 産学連携 5) 会員企業の拡大												【凡例】 ◎印：R6年度追加事業 白丸印の事業：R6年度新規事業			
項目	内容	事業主体 特記事項	令和6年												令和7年			活動目標
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
1	企業間交流・連携の拡大	技術(企業)プレゼン会				○						○						会員企業の取組の共有を図り、会員間の連携や取引拡大を図る。工機や経営者等の見学を通じ、相互に広がる企業トップ層の連携を促しながら両勢力、経営者層向上を目指す。
		経営者会									◎					○	各地域の支援機関が連携し、市域間の企業マッチングを促進(委託事業)	
		広域連携マッチング事業			○		○			○		○					会員企業の集積により連携企業・団体・公団との関係を支援。その後も対応。	
2	販路開拓拡大・新分野参入	企業連携相談対応															企業連携及びビジネス機会の場を作り販路拡大を図る	
		自動車メーカー向け 見本市への共同出展	販路拡大プロジェクト			○					◎		◎		◎		新商品開発のきっかけや技術課題の解決につなげる	
3	企業力の向上支援(人材育成など)	御用聞き訪問			○												新商品開発のきっかけや技術課題の解決につなげる	
		新入社員研修		○													実践的な研修による人材育成を目指す	
		入社2年目以降の社員研修								◎							入社2年目以降の社員のフォローアップ研修	
		地元高校生育成支援					○					○					地元高校と地域企業の交流を支援する	
		組織マネジメント(コミュニケーション)	(生産性向上支援訓練)									○					コミュニケーション力向上に資する研修	
		QC検定受験前講習					○								○		資格取得を支援する	
		QC7つ道具活用セミナー	(生産性向上支援訓練)														QCツールの活用実践	
		QC検定試験(会津開催)	(会津若松商工会議所の協力)													◎	QC検定試験の会津受検を支援する 会場は会津若松商工会議所	
		旋盤講習・フライス盤講習	ポリテクセンター会津				○											
		保全基礎技能教育				○												保全費低減、稼働率向上を目指す
4	産学連携	安全衛生	(生産性向上支援訓練)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	安全意識を高め、危険予知能力を向上し、労働災害の未然防止につなげる	
		危険体感講習																労働者の安全意識の向上や、事業場の安全対策の効果を進める
	生産・業務プロセス改善	生産管理	(生産性向上支援訓練)				○										改善により生産性向上を実現する人材を育成する	
		DX推進	IT・経営の見える化 データ活用・分析	(会員企業の国力を伸ばしながら調整・計画・実施予定)								◎						自社のITの現在地や、経営の課題診断を通じた見える化、データ活用スキル向上など 大学・企業の所有する技術・知識・人材の活用、企業の技術連携を推進する
5	運営	情報共有・発信		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	事業の月次共有、HPIによる会員情報等発信	
		事務局会議				○												事業運営の協議・幹事会提案事項の協議
		幹事・運営会議															○	事業運営の審議
	総会		○														事業運営の審議及び決議	

7

運営

報告済

1. 令和6年度ANF総会

令和5年度の事業と予算執行結果、令和6年度の事業と予算計画についての審議。また、新代表にマツモトプレジジョン(株) 代表取締役社長の松本敏忠氏の就任が承認された。講演会及び交流会にも多くの方に参加いただいた。

日時： 令和6年4月22日(月)15:00~17:30

会場： 会津若松ワシントンホテル

参加者： 74社(団体)101名 (交流会:78名)

演題1： カーボンニュートラル(CN)の実現に向けた取組について

東北経済産業局 カーボンニュートラル推進 五戸室長

演題2： スマートシティ会津若松の挑戦～地域DXと脱炭素に向けた活動最前線～

AiCT コンソーシアム 海老原代表理事、岡山理事、伊藤理事



8

企業間交流・連携

1. 秋の経営者会&交流会

次世代経営者に向けた講演として、アントレプレナーシップ(起業家精神・起業家的行動能力)を専門とされる、早稲田大学商学学術院ビジネススクールの長谷川博和教授にご講演いただきました。

また、松本代表よりANF活動方針・事業プランを説明いただきました。

日時： 令和6年11月5日(火) 15:00~17:00

会場： 会津若松ワシントンホテル

35社・団体 52名の方に参加いただきました。

■講演及びANF活動方針等の資料は下記Webページを参照下さい。

<https://www.anf.aizu.or.jp/20241105-2/>



9

企業間交流・連携

2. 冬の経営者会&新春交歓会

今回は、人材確保に焦点を当て、国の政策から人材採用の企業戦略、外国人材採用の事例を講演いただき、松本代表からは次世代経営層及び幹部層向けの研修企画概要を説明いただきました。

【日時】 令和7年1月29日(水) 15:00~17:00

【会場】 会津若松ワシントンホテル 【参加者】 33社・団体 56名

【講演者】 東北経済産業局 地域経済部長 古谷野義之氏

日本貿易振興機構(ジェトロ) コーディネーター 平松美恵氏

株式会社トライアンフ 代表取締役 半澤浩樹氏

■講演及び事例紹介、研修企画等の資料は下記Webページを参照下さい。

<https://www.anf.aizu.or.jp/20250129-2/>



10

企業間交流・連携

報告済

3. 広域連携地域産業ネットワーク構築事業（郡山テクノポリスからの受託）

地域間企業マッチングの取組。新商品開発等に積極的な企業に対し産業支援機関が連携案件の掘り起こしを図るもの。連携企業推薦予定。

1) 第1回ワークショップ（県内各地域の企業6社からプレゼン）

日時： 令和6年6月25日（火）13:30～16:30

- ①(株)ミライアル東北(福島市)： カーボングラファイト材活用
- ②新協地水(株)(郡山市)： 地中熱の熱交換機器の共同開発
- ③武蔵野精機(株)(須賀川市)： 研削、研磨での連携
- ④東成イービー東北(株)(郡山市)： 電子ビーム溶接軸に一貫加工連携
- ⑤(株)保志(会津若松市)： 位牌の新商品開発技術支援、木軸ペン連携
- ⑥トレ食(株)(南相馬市)： セルロース抽出技術活用、含有商品開発連携



11

企業間交流・連携

4. 広域連携地域産業ネットワーク構築事業（郡山テクノポリスからの受託）

地域間企業マッチングの取組。新商品開発等に積極的な企業に対し産業支援機関が連携案件の掘り起こしを図るもの。

第2回ワークショップ（プレゼン）からのトピックス

1) プレゼン企業 (株)サンブライ様(マグネシウム合金の用途開発)に対し

- ・ いわき産学官ネットワーク協会： ドローン関係の企業1社を推薦
 - ・ 郡山テクノポリス推進機構： 郡山市のものづくり開発企業1社を推薦
- 具体的なマグネシウム合金活用について打合せを実施。

今後、補助金を活用した共同開発など視野に取り組みまれる予定。

2) プレゼン企業 いわき市のミムラ工業(株)様(航空機・鉄道内装部品に係る部品加工が行える企業との協業)に対し、

- ・ ANF会員企業で手を挙げて頂いたA社を推薦。Web会議を経て、いわきの工場見学、図面や加工サンプルを見て対応可能と自信を持たれ、ミムラ工業様からも好評価。今後の取引対象として検討頂けることに。

12

企業間交流・連携

報告済

5. 企業プレゼン会 in 会津パッケージ を開催

3月にご入会の会津パッケージ様にご協力いただき工場見学付きで開催。

【日時】 令和6年7月16日(火)13:30~16:30 【場所】 会津パッケージ(株)

【プレゼン企業】

- ① (株)大善 「2024年問題へのDAIZENの対策・取り組み」
- ② 荒川産業(株) 「LFCコンポストバックの取り組みについて」
- ③ 日本バイソン車輛(株) 「トラック架装とコンテナハウス製作販売について」
- ④ 会津パッケージ(株) 「地元企業としての取り組み」

情報提供: 福島ミドリ安全(株)、(株)大塚製薬工場 「脱水症、熱中症対策」

【参加者】 18社2団体、33名



13

企業間交流・連携

6. 企業プレゼン会 in マツモトプレジジョン(株)

本プレゼン会は、会員企業間の連携促進の為に開催しています。今回は今年入会いただいた3社の会員企業様にプレゼンいただきました。

日程: 令和6年11月28日(木) 13:30~16:30

22社・団体、45名の方に参加いただきました。

- ① 株式会社Creation Enterprise(自動化装置、設備修理・メンテナンス)
- ② 株式会社トライアンフ(人材派遣・人材紹介)
- ③ 株式会社テクノア(業務用パッケージソフト開発・販売)

・ 情報提供: エネルギー・エージェンシーふくしま

・ GXの取組み説明・省エネ施設・工場見学: マツモトプレジジョン株式会社



14

企業間交流・連携

7. 企業プレゼン会 with セイコーエプソン(株)

セイコーエプソン(株)様と(株)関美工堂様のご協力をいただき、両社の共創によるプリントラボがあるヒューマンハブ天寧寺倉庫にて開催しました。地域共創、企業PR・情報発信などをテーマにプレゼンいただきました。

日程：令和7年3月5日(水) 14:00～ 参加者：18社・団体 27名

【プレゼン企業】

- ①株式会社いろはデザイン
- ②株式会社保志
- ③セイコーエプソン株式会社
 - ・ 三義漆器店 取組のご紹介
 - ・ 天寧寺倉庫見学、プリントデモ



15

企業間交流・連携

報告済

8. 企業連携対応

- ・ (株)バンダイ&磐梯町&会員企業(5/1)
会員企業が持つ技術・ノウハウを活用した商品開発の為のマッチング
- ・ (株)一十八日&南会津町&会員企業(5/17)
新商品開発の為、南会津町のアロマオイル等精油蒸留、蒸留管理、製造の企業とのマッチング
- ・ 日本大学工学部&郡山テクノポリス推進機構&会員企業(4/9)
会員企業が持つ技術・ノウハウが第三者から見た評価の確認、PRのアドバイスを得る機会を得た
- ・ 東経連BC対応 (株)会津工場、(株)住田光学ガラス(4/25)
企業訪問&工場見学のアテンド実施

16

人材育成

報告済

1. 令和6年度 新入社員研修

社会人の心得や知識、職場のコミュニケーションの取り方、自発行動型社員になる事を学ぶ目的で開催。

日 時： 令和6年4月2日(火)・3日(水)9:00～17:00 (2日間)

場 所： 福島県テクノアカデミー会津(喜多方市塩川町)

講 師： テクノアカデミー会津 専任講師

受講者： 15社30名

内 容：社会人としての心得や知識を学ぶとともに、特に自発型行動型社員になることを目指し、演習やグループワークを多く取入れた研修を実施した。



17

人材育成

報告済

2. 入社2年目以降の社員のための研修

入社2年目以降の社員の為の研修を開催しました。

ANFでは初めての試みで、上司・先輩とのコミュニケーションの取り方、職場での周囲の方とのやりとりなどについて学習し、快適な職場環境を持続しながら仕事に継続して取り組むための学びを得ました。

日 程： 8月6日(火) 9:30～16:30 (6H)

会 場： 会津稽古堂 研修室5～6

講 師： 会津アピオパソコンスクール 板橋 真実 氏

受講者： 6社12名



18

人材育成

3. 危険体感講習開催

労働者の危険に対する慣れや知識・体験不足による危険予知能力の低下を払拭するために、危険体感を通じて安全意識の向上を図ることを目的に毎月1回開催。人気の為、早目のお申込みをお勧めします。

会場：三菱マテリアル(株) 安全教育訓練センター(会津若松市扇町)

講師：玉川エンジニアリング(株)(中災防危険体感訓練トレーナー教育受講者)

状況：

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
企業	4	3	4	4	5	6	4	5	7	—	—	2
人数	9	5	11	6	12	8	7	10	3	—	—	6



19

人材育成

報告済

4. 保全基礎教育(座学中心)

製造設備の「故障」や「加工不良」を未然に防ぐためには、自主的な設備保全が重要です。そのための基礎知識を取得するための講座です。座学中心の講座ですが、実習の時間も少しあり、危険体感教育の一部も体験できました。

日時：令和6年6月13日(木)～14日(金) 9:00～17:00

会場：三菱マテリアル(株) 安全教育訓練センター

講師：玉川エンジニアリング(株) 専任講師

受講者：6社12名



20

人材育成

報告済

5. 生産性向上支援訓練（令和6年度第1回）

「生産現場の問題解決」

生産管理を理解し、生産現場の問題を発見、解決できる知識、技術を習得するもの。2Sという基本的なところから学びなおし、各社で抱えている問題を解決するための手法を取得しました。

【日時】 令和6年7月3日(水)、4日(木)の2日間

【場所】 ポリテクセンター会津 セミナーホール

【講師】 山形大学 客員教授

山形県生産基盤強化支援協議会アドバイザー

柴田 孝氏

【受講者】 6社 22名



21

人材育成

報告済

6. 生産性向上支援訓練（令和6年度第2回）

「後輩指導力の向上とベテラン従業員の役割」

昨年に引き続きティーチング、コーチングの内容を含めた研修です。

日程： 9月5日(木)～6日(金) 9:30～16:30 (6H)

会場： 会津アピオスペース

講師： 会津アピオパソコンスクール 板橋 真実 氏

受講者： 8社14名

人材確保に苦戦されている企業が多い時代、入社した後輩・部下の人たちと共に働きやすい職場を作るためのコミュニケーションスキルを習得するセミナーです。円滑なコミュニケーションのために、後輩・部下の人たちがどのように考え、どのように感じるかなども実践で体験しながら学びました。



22

人材育成

報告済

7. 生産性向上支援訓練（令和6年度第3回）

「事故をなくす安全衛生活動」

日程： 10月7日(月)～8日(火) 9:30～16:30（6H）

会場： 会津アピオスペース

講師： YUBITOMA 五十嵐 伸一 氏

受講者：6社10名

自社内で活動されている安全衛生活動を進めるにあたって、必要なリスクアセスメントの評価基準となるリスクレベルの出し方など、実務に繋がることを生み出した。危険体感教育へとつながる内容もあり、結び付けていけるように今後は企画したいと思います。



23

人材育成

8. 生産性向上支援訓練（令和6年度第4回）

日程： 令和6年11月1日(金)、8日(金)

会場： 会津アピオスペース 2階会議室

講師： 会津オリンパス(株) 経営企画部 企画グループ

企画チーム 課長代理 古川 英嗣

受講者：5社 8名

品質の管理のための手法である「QC7つ道具」を学び、いかに品質レベルの高い製品をつくるかをグループ毎に検証しました。グループ毎に設計通りの紙飛行機を作るために、データ取りを行い、品質アップを目指しました。



24

人材育成

報告済

9. フライス盤講習(技能技術教育)

フライス盤加工技術を座学と実技の両面から体系的に学び、基礎から実践作業まで身に付ける事を目的とし、ポリテクセンター会津の講習を活用し開催。

開催日：令和6年7月2日(火)～4日(木)の3日間

時間：9:30～16:30

会場：ポリテクセンター会津

参加者：3社3名(会員企業1社1名)

内容：作業の安全性を考慮した指導のもとで、加工に必須な刃物の選定から切削条件の設定、段取り作業、加工工程、切りくずの出方など学んでいました。



25

人材育成

報告済

10. QC検定試験受験前講習会(品質管理教育)

ポリテクセンター会津で開催。今回は3級で会津工業高等学校生7名にも受講いただきました。

1) 2級受験者向け

日時：令和6年6月29日(土)、7月6日(土) 9:00～16:00

受講者：3社8名

講師：会津オリンパス(株) 古川 英嗣 氏

2) 3級受験者向け

日時：令和6年6月29日(土)、7月6日(土) 9:00～12:00

受講者：6社1校25名

講師：ルービイ工業(株) 鬼頭 貞行 氏



26

人材育成

11. QC検定試験受験前講習会(品質管理教育)

ポリテクセンター会津で開催。今回は、3級のみですが過去問題解説会を実施し、受験対策に有効と好評でした。

1) 2級受験者向け

日時：令和7年1月25日(土)、2月1日(土) 9:00～16:00

受講者：4社7名

講師：会津オリンパス(株) 古川 英嗣 氏

2) 3級受験者向け

日時：令和7年1月25日(土)、2月1日(土) 9:00～12:00 13:00～15:00

受講者：7社1校52名

講師：ルービィ工業(株) 鬼頭 貞行 氏



27

人材育成

報告済

12. QC検定会津受験

会津で受験できるよう、会員の皆様にご協力いただき開催できました。高校生にも、3級8名、4級46名と多くの方に受験いただきました。

【試験日】 令和6年9月1日(日)

【試験会場】 会津若松商工会議所

※ご厚意により会員価格で貸していただきました。

【受検者総数】 2級:11名、3級:59名、4級:48名 (合計118名)

【試験監督員】 会津工業高校、ルービィ工業

※会場設営から、運営、試験の監督までお力添えいただき、無事開催できました。ご協力いただきありがとうございました。



28

人材育成

13. 「次世代経営幹部エッセンシャルズ」 企画策定

令和7年度からの事業として、AiCTコンソーシアム企業のご協力を得て、次世代経営層及び幹部層向け研修の企画が完成しました。

※企画概要はこちら: <https://www.anf.aizu.or.jp/anf20250129/>

■研修申込状況

10社18名

対象者は3月14日(金)まで確定



29

産学連携

報告済

1. 会員間連携対応

会津工業高校よりの要望により、地元企業をより知ってもらうために以下の事業が行われました。

①ビジネスマナー講習会(6/7開催)

参加企業:5社

暁精機(株)、(株)マコト精機、玉川エンジニアリング(株)、ルービイ工業(株)、(株)サンブライト

<内容>

工業高校よりの依頼で、基本的なビジネスマナーに加えて、面接する側の立場で感じる注意点・重要事項などを生徒の皆さんへ伝えました。

②工場見学バスツアー(PTA進路対策委員会:6/27開催)

参加企業:4社 (株)マコト精機、(株)シグマ、(株)保志、リズム(株)

<内容>

会津工業高校で例年行われているPTA進路対策委員会の企業視察会です。PTAから要望のあった企業の訪問を調整し、視察いただきました。

30

産学連携

報告済

2. 会津工業高校 先生方の企業視察バスツアー

新卒高校生の人材確保のため、まずは地元の企業をより知ってもらうための企業視察バスツアーを今年も開催しました。

昨年は、会津若松・喜多方方面それぞれ回るツアーを2コース準備しましたが、今年は先生方の要望の多かった南会津訪問を視察しました。

日 程： 8月7日(水)

訪問企業： (株)会津工場、(株)住田光学ガラス、暁精機(株)

参加者数： 8名



31

産学連携

報告済

3. 中堅社員の集い(デザイン思考ワークショップ)

SAPジャパン(株)様にファシリテーションいただき、デザイン思考を体験し、学べるワークショップを開催。社外交流、視野を広げる機会となりました。

【日 時】 令和6年9月12日(木)13:30~17:30

【会 場】 スマートシティAiCT交流棟

【参加者】 6名(ANF会員3社6名)

・参加者全員が有意義だったと回答。「他社との交流やコミュニケーションが有意義だった」、「デザインシンキングの新しいアプローチやユーザー視点での課題発見が役立った」などの感想をいただきました。



32

産学連携

4. ロボコン in あいづ 2024

今回から初となる、無線によるロボット操作により、地面にあるものを高台へ移動するという難しい作業に挑戦しました。

日程： 11月9日(土)

会場： 会津工業高校 体育館

参加チーム：17チーム

本コンテストの開催が、企業・学校・地域のつながり作りに寄与しているものと考えています。

受賞チーム

順位	チーム名	所属
優勝	アロテック	有限会社アロテック
2位	タク写	城西小学校
3位	聴覚支援学校 情報工業科	福島県立聴覚支援学校
審査員特別賞	チーム小池	会津工業高校
グッドデザイン賞	株式会社メカテック	株式会社メカテック
アイデア賞	速習ライダー	会津若松市
アイデア創れ賞	ATH 職員 OB-GG	会津若松市
熱心賞	CoderDojo 喜多方メンターズ	喜多方市
敢闘賞	玉エッジ機械	玉川エンジニアリング(株)
頑張ったで賞	ANTK	塩川町
グッドドライバー賞	玉エッジ電気	玉川エンジニアリング(株)
来年に期待で賞	飯塚家	磐梯町

(記念撮影)

今回も最後まで笑顔で記念撮影することが出来ました。



33

販路拡大

報告済

1. 第29回機械要素技術展へのサポート

展示会日程：令和6年6月19日(水)～21日(金)10:00～18:00(最終日～17:00)

会場：東京ビックサイト(東京都江東区有明)

出展名：会津地域ものづくり企業

参加企業：(株)会津工場、玉川エンジニアリング(株)、(株)会津技研、
(株)サンブライト、(株)マコト精機、小島工業(株)

来場者情報：6/19(水)19,143名、6/20(木)23,498名、6/21(金)27,076名

3日間合計：69,717名 (昨年実績：66,895名)

昨年に比べかなりの来場があり、コロナ前にほぼ戻った感があった。



34

販路拡大

報告済

2. 諏訪圏工業メッセ出展へのサポート

日 程： 令和6年10月17日(木)～19日(土)

会 場： 長野県岡谷市(岡谷市市民総合体育館、テクノプラザおかや)

出展企業：2社(株)会津技研、(株)サンブライト

会員企業様から情報提供があり、今年度初出展。

地方の展示会の中でもかなり規模が大きい展示会として参加。

諏訪市では、教育特区として小学生からものづくりへ親しむプログラムを年間の学習にとりれていることもあり、小学生～高校生まで会場へ学校単位で来場して、地元企業を知る機会として位置つけされた展示会でした。

地元企業間でも、直接商談につながるようなやりとりもするために来場する場として出展・来場されていました。



35

販路拡大

3. 彩の国ビジネスアリーナ出展へのサポート

日 程： 令和7年1月22日(水)～23日(木)

会 場： 埼玉県さいたま市(さいたまアリーナ)

出展企業：5社(株)会津ラボ、(株)会津工場、(株)サンブライト
玉川エンジニアリング(株)、リズム(株)

今回で2回目の展示会だったが、前回コロナ禍で縮小しての開催だったので、さいたまアリーナ全会場を利用した展示会ではあったが、彩の国ビジネスアリーナの入場者が諏訪圏工業メッセの入場者数よりも少ないというデータとなり、今後の検討材料となった。ただし、出展企業によっては、新規の契約へつながりそうな案件もあったため総合的な判断も必要と感じた。



36

販路拡大

報告済

4. 御用聞き訪問

日程： 令和6年5月9日(木)、10日(金)

訪問先：5月9日 (株)三義漆器店、

5月10日 (株)ユーアイズ、会津エンジニアリング(有)、
天系瓜ネット合同会社

訪問メンバー：堀切川先生、福島県商工労働部)佐藤氏、ハイテクプラザ)
長尾氏、山川印刷所)菅野氏、発明協会)鈴木氏、金澤氏、秋山

新規では、会津エンジニアリング(有)、天系瓜ネット合同会社が参加されました。



販路拡大

5. 御用聞き訪問

日程： 令和6年11月21日(木)、22日(金)

訪問先：11月21日 (株)ユーアイズ、(有)TRY、(株)羅羅屋

11月22日 大同精機(株)、西田精機(株)

訪問メンバー：堀切川先生、福島県商工労働部)佐藤氏、ハイテクプラザ)
長尾氏、山川印刷所)菅野氏、発明協会)鈴木氏、金澤氏、秋山

5月の訪問に続き、今年度第2回目の御用聞き訪問に5社が参加されました。
継続訪問4社に加えて、新規で大同精機(株)様が参加されました。



その他

報告済

1. 地域連携推進への取組

会津地域の某食品会社から、樹脂製板の製作見積依頼があった。

①きっかけ

これまで、中通りの企業との取引だったが、地元企業と繋がりをもちたいと希望された為、某氏からANFを紹介。

②結果

会員企業より複数応募があり、9月末に1社との取引につながった。



39

その他

2. 会員企業ヒアリング訪問(アンケート調査含む)

ANFの活動が有意義であり続ける為に、既存事業のニーズ、活動へのご意見等を伺う為、アンケートとヒアリング訪問を実施。

アンケートへの回答とヒアリング訪問の受入に感謝致します。

回答率は61.4%とかなり低く、回答がない32社のご意見がいただけなかったこと、大変残念です。

会員の皆様のご意見やニーズが反映された事業が行えるよう、調査票の意義、設問の内容など再考を図りたいと思います。

■報告書は下記Webページをご覧ください。(1/22に一斉配信済)

<https://www.anf.aizu.or.jp/anf20250122/>

40

今後の予定

1. 令和7年度ANF総会

下記にて開催致しますので、ご予定の程、宜しくお願いします。

日時： 令和7年5月8日(木) 15:00～

場所： 会津ワシントンホテル

総会、講演会、交流会を開催します。

※詳細が決まりましたらご案内させていただきます。

41

運営

会議	開催日・場所	参加者	主な内容
総会	4月22日(月)	会員、賛助会員、 特別会員(自治体)、 関係機関	・R5年度事業・決算報告 ・R6年度方針・事業計画、予算
事務局 会議	7月、10月、3月の幹 事会開催前月に開催	代表、副代表、事務局	・事業報告、事業予定等、幹事会 提案内容の審議
幹事会・ 運営会議	第1回 7月29日 会津稽古堂	代表、副代表、幹事、 監事、相談役、事務局	・事業進捗報告、事業予定 ・予算執行状況報告
	第2回 10月22日 会津稽古堂	代表、副代表、幹事、 監事、相談役、事務局	・事業進捗報告、事業予定 ・予算執行状況報告
	第3回 R7年3月13日 会津稽古堂	代表、副代表、幹事、 監事、相談役、事務局	

42

2024年度 収入・支出 見込 (3月運営会議・幹事会資料)

< 収入の部 >

2025年1月31日 現在
(単位: 円)

勘定科目	予算額(A)	4月~1月実績額(B)	差額(B)-(A)	4月~1月 摘要	2~3月 見込額(C)	年間見込額(D) (B)+(C)	差額 (D)-(A)	2月~3月 摘要
繰越金	4,844,578	4,844,578	0	前年度繰越金 4,844,578円		4,844,578	0	
会費	3,392,500	3,399,500	7,000	正会員 36,000×84社、(途中入会) 27,000×1社、21,000×1社、9,000×1社/ 賛助会員 42,000×6社、31,500×1社、35,000×1社、	42,000	3,441,500	49,000	正会員1社36,000円、途中入会1社6,000円、
自治体負担金	7,191,000	7,191,000	0	自治体支援金 7,191,000	0	7,191,000	0	
展示会出展者負担金	4,540,000	4,327,506	▲ 212,494	機械要素技術展 出展者負担金 4,057,896円、諏訪圏工業メッセ 269,610円	600,820	4,928,326	388,326	彩の国ビジネスアリーナ5社 600,820円
研修受講料	2,150,840	2,315,060	164,220	新入社員研修 110,550円 QC検定前講習会 350,500円 生産性セミナー 212,000円、保全基礎教育 171,600円 危険体感教育 265,650円 中堅社員研修9,000円 入社2年目以降社員研修 33,000円 QC検定試験1,162,760円	93,070	2,408,130	257,290	QC検定前講習会14,090円、QC検定試験料 30,256円、危険体感教育(3月) 46,200円、QC検定試験事前講習会テキスト2,530円
受託料	1,540,000	1,540,000	0	生産性向上支援訓練 受託料 1,540,000円	250,000	1,790,000	250,000	広域連携委託料250,000円
雑収入	82	620	538	利息620	4,527	5,147	5,065	利息4,527円
合計	23,659,000	23,618,264	▲ 40,736		990,417	24,608,681	949,681	

< 支出の部 >

(単位: 円)

勘定科目	予算額(A)	4月~1月実績額(B)	差額(B)-(A)	4月~1月 摘要	2~3月 見込額(C)	年間見込額(D) (B)+(C)	差額 (D)-(A)	2月~3月 摘要
報償費	2,935,640	2,108,452	▲ 827,188	講師料 705,062円 研修負担金 867,350円 QC検定試験受験料 536,040円	724,850	2,833,302	▲ 102,338	経営者会10,000円、QC検定前講習 講師料80,000円、危険体感教育受講料46,200円、QC検定受験料598,650円
旅費	774,800	470,048	▲ 304,752	事務局旅費 388,008円 講師旅費 82,040円	62,320	532,368	▲ 242,432	事務局旅費 50,720円 講師旅費11,600円
交際費	50,000	5,000	▲ 45,000	香典 5,000円 × 1	45,000	50,000	0	
需用費	1,482,500	1,102,069	▲ 380,431	講演会費用 745,107円、消耗品費用 61,772円、ガイドブック作成 88,000円、QC検定テキスト代207,240円	116,637	1,218,706	▲ 263,794	開催事業などの需用費97,688円、消耗品など18,949円
役務費	91,200	86,594	▲ 4,606	郵券代等 63,494円、振込手数料 23,100円	4,290	90,884	▲ 316	振込手数料4,290円
委託費	1,300,000	1,525,955	225,955	HP保守契約料 52,800円、複合機管理費 81,655円、展示会装飾代1,391,500円	40,000	1,565,955	265,955	事務所内システムメンテナンス 20,000円、複合機管理費20,000円
使用料	1,038,000	525,749	▲ 512,251	講演会会場費401,620円、Teamsおよびウイルスバスター使用料、23,729円、インカムおよびバス使用料 100,400円、	96,480	622,229	▲ 415,771	会場費および駐車場代 72,500円、アプリケーション使用料23,980円
負担金	3,140,000	682,000	▲ 2,458,000	諏訪圏工業メッセ220,000円、彩の国ビジネスアリーナ 462,000円	2,816,000	3,498,000	358,000	機械要素技術展 小間代2,816,000円
事務局経費	9,276,000	6,536,755	▲ 2,739,245	人件費 6,085,569円 事務所経費 451,186円	1,923,609	8,460,364	▲ 815,636	人件費 1,826,779円、事務所経費 96,830円、
備品購入費	100,000	33,000	▲ 67,000	電話・FAX回線切り替え機33,000円	0	33,000	▲ 67,000	
予備費	3,470,860	0	▲ 3,470,860		0	0	▲ 3,470,860	
合計	23,659,000	13,075,622	▲ 10,583,378		5,829,186	18,904,808	▲ 4,754,192	

収入合計-支出合計	0	10,542,642	10,542,642		▲ 4,838,769	5,703,873	5,703,873	
-----------	---	------------	------------	--	-------------	-----------	-----------	--

年間見込額	
収入	24,608,681
支出	18,904,808
差引残高	5,703,873

令和7年度活動方針（案）

会津産業ネットワークフォーラムは、地域に根ざす「ものづくり企業」を核とした組織であり、会津地域の将来にわたる持続的な発展を目指しています。

同時に会津地域の産業経済の活性化に取り組むことで、地域社会に貢献していきたいと考えています。

この観点を踏まえ、これまで会員の交流促進や自己変革活動、人材育成、さらには企業間連携による持続的な成長や発展のための自主的な活動を展開してきたところです。

本年度は、引き続き次の目標を掲げ、継続事業の品質を見直すとともに、会員ニーズに沿った新たな事業を実施し、会員企業の満足度向上を図ってまいります。

【目標】

- 1) 企業間交流・連携の拡大
- 2) 販路開拓拡大・新分野参入
- 3) 企業力の向上支援・人材育成
- 4) 産学連携
- 5) 会員企業の拡大

具体的には、次に掲げる活動を実施することで、会員企業の事業の充実・拡大に貢献し、引いては、地域経済の活性化に寄与するものとする。

令和7年度ANF事業計画（案）

令和6年度は、企業間交流及び連携の拡大をはじめ、販路開拓拡大・新分野参入、企業力の向上支援、産学連携、会員企業の拡大を目標に掲げ活動して参りました。また、危険体感教育及びQC検定試験事前講習会では多くの方に受講いただき高い評価をいただいています。

初めての取り組みとして、入社2年目以降の社員のための研修は好評を博し、QC検定試験の会津受検では、2回とも定員が満員になるほど、高校生から会員企業の従業員の方にご活用いただきました。しかし、令和7年9月からの3級と4級の試験が紙に記載する試験からPCを使った試験（CBT）に移行されることから、現在、会津でのCBT団体受検が行えるよう、QC検定協会との交渉、学校との協力体制作り・調整を図っています。

また、人材育成事業においては、既存の教育カリキュラムではカバーできていなかった経営層・幹部層向けの教育カリキュラムを企画・計画しました。これまで、幹事会での了承を得、経営者会や企業プレゼン会にて皆様にお知らせしました通り、1年間を通しての研修であることから、令和6年度末に募集し、令和7年度4月から研修を開始しています。

令和7年度の主な事業は、令和6年度の会員企業ヒアリング調査結果を勘案し、次のとおり提案いたします。

1 企業間交流・連携の拡大

1) 企業プレゼン会

平成21年度から開催しているが、高い会員ニーズと会員相互理解及び会員間取引の機会にも繋がっていることから継続して実施する。

また、海外進出、外国人雇用と現地での取り組みなど、既に進出している会員企業から学ぶ機会として、海外（ベトナム/ホーチミン）視察を実施する。

2) 経営者会

経営者が集い親睦を深める場、交流を促進する場、学び合う場を設定し、相互理解を深めるとともに、世の知見探究を目的とし経営力向上を目指した取り組みを行う。

3) 広域連携マッチング事業

開発・研究を積極的に進める会員企業を他地域の産業支援機関コーディネーターに知ってもらい機会を作り、それぞれの地域企業との協同開発、協業、連携を図る機会を創出する。

- 4) 他地域産業支援機関との交流
地域の活性化、地域産業の活性化を図るにあたり、他地域との連携、他地域の産業支援機関との相互交流・連携機会を作る。
- 2 販路開拓拡大・新分野参入
 - 1) 自動車産業を含めたさまざまな分野への参入を目指した販路拡大活動
自動車産業限定とせず、幅広い分野の産業への新規参入を目指し、企業間の情報交換及び学ぶ場を設定し、連携を深める取り組みを行っていく。
 - 2) 見本市への共同出展
ANF 会員企業による共同出展を支援する。
 - 3) 御用聞き訪問
地域産業復興支援事業として、福島県商工労働部産業振興課の支援を受け東北大学名誉教授であり、県の地域産業復興支援アドバイザーを務める堀切川一男氏による御用聞き訪問を実施する。訪問により、新商品開発のキッカケや技術課題の解決につながる提案を受ける。
 - 3 企業力の向上支援
 - 1) 人材のスキルアップ支援
会員ニーズに基づき資格取得の支援及びものづくりの現場で求められる実践的な研修を実施し、技術力や技能向上を支援する。新規事業として資格取得の促進を図る取り組みを行う。(QC 検定試験の会津地域開催)
また、会員企業から提案いただいた研修等に関しては、会員企業のニーズ等を踏まえ、逐次開催可否を検討しタイムリーな研修機会の提供を図る。
 - 2) 地元高校生の育成支援
高校と企業との連携強化や、将来のものづくり人材育成に寄与する支援を継続する。また、ロボコン開催協力等により地域のものづくり交流を支援する。
 - 3) 採用支援
会員企業ヒアリング調査で、人材確保が計画通りにできず、人材不足の状況がつついているとの意見に対応するため、採用につながる事業の拡大を図る。
 - 4) 次世代経営層・幹部層育成支援
AiCT コンソーシアムの企業と連携し、1年間を通し充実した研修により、次世代の経営層・幹部層の人材育成を図る。

4 産学連携

1) 中堅社員の集い

中堅社員が交流を深めながら自社が抱える問題や課題を解決に導く取り組みを開催する。

5 会員企業の拡大

1) ANFの活動目的・目標、活動内容の情報発信に努め、正会員、賛助会員、特別会員を拡大していく。

6 運営体制

1) 会議開催

①幹事会・運営会議

ANF事業を審議する場として、年3回の開催を継続する。

②事務局会議

ANF事業の具体的な実施計画を協議するため、年3回開催する。

以上

令和7年度事業スケジュール(案)

令和7年3月10日

【ANF設立の目的】 会津地域における 1 企業の持続的な成長 2 産業の活性化 3 社会への貢献			目 標	1) 企業間交流・連携の拡大 2) 販路開拓拡大・新分野参入 3) 企業力の向上支援・人材育成 4) 産学連携 5) 会員企業の拡大												【凡例】 ◎印: R7年度追加事業 白黒反転の事業: R7年度新規事業 ▲印: R7年度廃止事業		
項目	内容	事業主体 特記事項		令和7年												令和8年		
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
1	企業間交流 ・連携の拡大	企業プレゼン会	海外(ベトナム/ホーチミン)視 察含む				○				◎					会員企業の取組の共有を図り、会員間の連携や取引拡大を図る。工場や研究施設等の見学を通し知見を広げる		
		経営者会								○			○			企業トップ層の連携を深めながら経営力、経営品質向上を目指す		
		他地域産業支援機関との交流			○											長野県佐久市、佐久産業支援センター訪問・交流		
		広域連携マッチング事業	(郡山地域テクノポリス推進機構)			○		○		○		○				各地域の支援機関が連携し、地域間の企業マッチングを図る(受託事業)		
		会員企業ヒアリング調査				○	○	○	○	○	○					ANF事業ニーズ、意見交換、調査アンケート		
	企業連携相談対応	(随時受付対応)													会員企業の要請により連携企業・団体・公設試の探索を支援。その逆も対応。			
2	販路開拓拡大 ・新分野参入	自動車メーカ向け	販路拡大プロジェクト			○				○			○		企業連携及びビジネス機会の場を作り販路拡大を図る			
		見本市への共同出展					○	機械要素技術展		○	燕三条ものづくりメッセ		○	彩の国ビジネスア リーナ				
		御用聞き訪問				○					○				新商品開発のキッカケや技術課題の解決につなげる			
3	企業力 の向上支援 (人材育成など)	階層別 教育	新入社員研修		○											実践的な研修による人材育成を目指す		
			入社2年目以降の社員研修				○									入社2年目以降の社員のフォローアップ研修		
			組織マネジメント(コミュニケーション)	(生産性向上支援訓練)							○						コミュニケーション力向上に資する研修	
			次世代経営幹部エッセンシャルズ	(AICTコンソ企業連携)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	次世代経営層、幹部層向け育成研修プログラム(年間プログラム)	
	品質管理 教育	QC検定受験前講習					○						○			資格取得を支援する		
		QC7つ道具活用セミナー													▲	QCツールの活用実践		
		QC検定試験(CBT会津開催)	(会津工業高校連携CBT対応)							◎					◎	QC検定試験のCBT(PC受検化)に伴う会津での団体受検の実現に向けて、会津工業高校、会員企業と連携		
	技術教育	旋盤講習・フライス盤講習	ポリテクセンター会津				○							○				
	保全教育	保全基礎技能教育					○									保全費低減、稼働率向上を目指す		
	安全教育	危険体感講習		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	安全意識を高め、危険予知能力を向上し、労働災害の未然防止につなげる		
安全衛生		(生産性向上支援訓練)													労働者の安全意識の向上や、事業場の安全対策の効果高める			
生産・業務 プロセス改善	生産管理	(生産性向上支援訓練)				○									改善により生産性向上を実践する人材を育成する			
	DX推進	IT・経営の見える化 データ活用・分析	(会員企業の協力を得ながら調整・計画・実施予定)							○						自社のITの現在地や、経営の健康診断を通じた見える化。データ活用のスキル向上など		
4	産学連携	中堅社員の集い	(大学のシーズ発表会等へ)				○									大学・企業の所有する技術・知識・人材の活用、企業の技術連携を推進する		
		地元高校生育成支援					○	会員企業工場見学ツアー				○	ロボコン支援			地元高校と地域企業の交流を支援する		
		SDGsワークショップ									◎					TMEJ小池様の講師によるワークショップ		
5	運 営	情報共有・発信		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	事業の月次共有、HPIによる会員情報等発信		
		事務局会議				○					○			○		事業運営の協議・幹事会提案事項の協議		
		幹事・運営会議					○								○	事業運営の審議		
		総会			○											事業運営の審議及び決議		

2025年度 収支予算計画

2025年3月13日

(単位：円)

< 収入の部 >

勘定科目	2024年度		2025年度 予算額 (B)	増減 (B) - (A)	摘 要
	予算額 (A)	実績見込			
繰越金	4,844,578	4,844,578	5,703,873	859,295	
会費	3,392,500	3,441,500	3,504,000	111,500	正会員 88社、賛助会員 8社
自治体負担金	7,191,000	7,191,000	7,591,000	400,000	12市町村からの支援金
展示会出展者負担金	4,540,000	4,928,326	5,450,000	910,000	出展する展示会の増による負担金増
研修受講料	2,150,840	2,408,130	4,734,240	2,583,400	新研修 (次世代経営幹部向け研修など)
受託料	1,540,000	1,790,000	1,240,000	▲ 300,000	生産性向上支援訓練の開催予定数減による減額
雑収入	82	5,147	6,887	6,805	金利上昇による利息増
合 計	23,659,000	24,608,681	28,230,000	4,571,000	

< 支出の部 >

勘定科目	2024年度		2025年度 予算額 (B)	増減 (B) - (A)	摘 要
	予算額 (A)	実績見込			
報償費	2,935,640	2,833,302	4,422,240	1,486,600	研修数増、QC検定受験料追加のため
旅費	774,800	532,368	1,680,000	905,200	新規研修(海外含む) 追加のため
交際費	50,000	50,000	50,000	0	
需用費	1,482,500	1,218,706	1,602,500	120,000	新規研修追加及び、事務局出張 (海外含む) のため
役務費	91,200	90,884	67,900	▲ 23,300	e-mailでの送付へと切り替えたため
委託費	1,300,000	1,565,955	1,630,000	330,000	材料費などの高騰により装飾費値上げのため
使用料	1,038,000	622,229	1,420,000	382,000	研修の追加のため会場費増のため
負担金	3,140,000	3,498,000	4,156,000	1,016,000	出展する展示会の回数増のため
事務局経費	9,276,000	8,460,364	9,276,000	0	
備品購入費	100,000	33,000	100,000	0	
予備費	3,470,860	0	3,825,360	354,500	
合 計	23,659,000	18,904,808	28,230,000	4,571,000	

収入合計－支出合計	0	5,703,873	0	0	
-----------	---	-----------	---	---	--

収 入	28,230,000
支 出	28,230,000
差引残高	0

Ⅲ その他

来年度事業

1. 「次世代経営幹部エッセンシャルズ」計画と申込状況
2. トヨタ自動車東日本(株)小池様WSの企画
3. 海外(ベトナム/ホーチミン)視察
4. 来年度事業のキーテーマに関する提案
5. 佐久市・佐久産業支援センター(SOIC)との交流

1

1. 「次世代経営幹部エッセンシャルズ」計画と申込状況

2025年度 年間プログラム概要案



キックオフでマインドセットを醸成、前半期でビジネススキルを習得いただき、後半期の実践・アウトプットでマインドセット・ビジネススキルを定着いただく

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
	マインドセット醸成		スキル習得・情報インプット			
形式	ワークショップ	ワークショップ	ワークショップ	ワークショップ	ワークショップ	中間発表
テーマ	キックオフ	ロジカルシンキング クリティカルシンキング	プロジェクトマネジメント DX事例・AI	サマリライティング レポート	プレゼンテーション ファシリテーション	中間発表
日程	4月10日(木) 13:00~17:00	5月15日(木) 13:00~17:00	6月19日(木) 13:00~17:00	7月17日(木) 13:00~17:00	8月21日(木) 13:00~17:00	9月18日(木) 13:00~17:00
開催形式	現地参加 AiCT交流棟	現地参加 AiCT交流棟	現地参加 稽古堂	現地参加 稽古堂	現地参加	現地参加
講師	浜野慶一様 ANF	アクセンチュア	アクセンチュア	アクセンチュア	アクセンチュア	アクセンチュア
	懇親会		懇親会		懇親会	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	実習・実践		アウトプット			
形式	ワークショップ	ワークショップ	発表準備①	発表準備②	発表準備③	発表会
テーマ	経営高度化	GX・サステナビリティ	デザインシンキング	最終報告会準備 個人ワーク・質問会	最終報告会準備 レビュー会	各社成果発表
日程	10月16・17日(木・金) 13:00~17:00	11月20日(木) 12:00~18:00	12月18日(木) 13:00~17:00	1月15日(木) 13:00~17:00	2月19日(木) 13:00~17:00	3月19日(木) 13:00~17:00
開催形式	現地参加	現地参加	現地参加	現地参加	現地参加	現地参加
講師	アクセンチュア	SAP	SAP	アクセンチュア	アクセンチュア	ANF※ファシリテーター
	懇親会		懇親会			

2

1. 「次世代経営幹部エッセンシャルズ」計画と申込状況

11社21名(3/13時点) *50音順

- ・会津オリンパス株式会社(1)
- ・荒川産業株式会社(4) *内荒川産業グループ企業3社
- ・株式会社サンブライト(2)
- ・株式会社三義漆器店(1)
- ・株式会社大善(3)
- ・株式会社福島民報社会津若松支社(2)
- ・株式会社マコト精機(1)
- ・JUKI会津株式会社(2)
- ・西田精機株式会社(2)
- ・フェニックス工業株式会社(1)
- ・マツモトプレシジョン株式会社(2)

3

1. 「次世代経営幹部エッセンシャルズ」計画と申込状況

(予算想定)

収入・支出、差引0円で運用する。

会場は各プログラムに合わせた会場を確保しつつ、費用を考慮した選定を図る。

また、参加者の懇親を図る為、交流会を実施する際の会社・個人負担軽減を考慮し需用費で賄う。

収入:受講料

1人年間12万円×18人⇒216万円

支出:報償費(講師料):100万円

講師旅費:30万円

需用費(交流会費、資料印刷など):46万円

使用料(会場費):40万円

⇒216万円

4

2. トヨタ自動車東日本(株)小池様WSの企画

令和7年度事業

環境課題への取り組みとして

・企業や地域の廃棄物問題など

東北大学との連携を図るワークショップを企画予定

トヨタ自動車東日本(株) 総務部 兼)プロジェクトF

兼)東北大学 環境融和ものづくり共創研究所

主担当員 博士(工学) 小池 亮 様

開催回数:1回/年で初めて、進捗状況・希望状況を加味して、変更予定。

5

3. 海外(ベトナム/ホーチミン)視察

《視察ポイント》

①ANF会員企業(JUKI株式会社・マツモトプレジジョン株式会社 その他)工場の見学

②外国人雇用(技能実習生)受入れを想定した送出し教育環境の見学

③JETRO(日本貿易振興機構ホーチミン)訪問にて ベトナム経済の理解

④国民性・文化・歴史に触れる

《想定時期》 2025年11月 3泊4日

《概算費用》 25万円前後

	人口	平均年齢	平均年収
ベトナム	1億	31歳	48万円
日本	1億2千万	50歳	460万円
アメリカ	3億4千万	38歳	900万円



本件に関する予算は、計画・調整・同行を行う事務局の旅費等を確保予定。

想定: 航空券¥100,000、現地及び東京での宿泊費¥80,000

国内移動費¥24,000、ベトナム内移動費¥50,000 等で約25万円/人

⇒合計約50万円を令和7年度予算に組込予定

6

4. 来年度事業のキーテーマに関する提案

松本代表より、ANFのキーテーマとして、

1) ウェルビーイング

2) 女性活躍社会

を挙げていただいています。

来年度事業の中では、

1) ウェルビーイング

- ・産業支援機関、企業での取組視察・意見交換(佐久市)
- ・秋の経営者会での講演・パネルディスカッションによるANF企業、市町村での認知、意見交換

2) 女性活躍社会

- ・秋の経営者会での講演
- ・来年度の事業企画としてANFでの取組みを検討

7

5. 佐久市・佐久産業支援センター(SOIC)との交流

今後、地域の活性化、地域産業の活性化を図るにあたり、他地域との連携、他地域の産業支援機関との相互交流・連携機会を作りたい考えです。

佐久市は、地域全体でウェルビーイングの向上に取り組んでおり、移住で人気なことから、長野県内で移住者数1位にもなっている地域です。

また、産業支援機関である「佐久産業支援センター」(SOIC)は、「Well-being Cityを育むイノベーション・コミュニティ」を目指し、地域のウェルビーイング向上に貢献する為、企業活動を支援しています。そのような取り組みの先進地である、佐久市・SOCへ訪問し、取組の視察、企業だけでなく自治体同士での意見交換をする機会を作りたい考えです。

場所： 長野県佐久市 時期：令和7年6月

概要： SOICの取組、ANFの取組、

ウェルビーイング、DXの取組み等プレゼン・意見交換、工場見学等

参加者： ANF及びSOIC企業、会津地域及び佐久市の自治体

※「佐久市が考えるWell-being City」とは

いま、企業の持続的発展には従業員の健康や働く環境に配慮した「健幸経営」が不可欠。

働きやすさを高めることでやる気も高め、モチベーションをアップし従業員と企業がともに成長できる。

そんな企業が集う都市。

8

IV 討議・相談事項

・大善様からの副業に関する提案に関して

ある建設会社の社員の副業先として相談を受け、大善様が短時間勤務で受入された。

会員企業で副業を認めている、副業したい、副業を活用したいという企業ニーズに対し協力できる仕組みをANFや地域で作れないかという提案があった。

一般のスポットバイトサービスは、全国規模で、手数料も発生することから、地域内での人材活用の為に必要との考え。

提案実現に、何かANFの協力をいただけないかと打診いただいた。

以上に関して幹事企業の皆様からの意見をいただきたいと思います。 9